

平成 29 年度

「地域における障害者スポーツ普及促進事業」

成果報告書

新潟県

目次

1 現状と課題

2 実施概要

- ・実行委員会（新潟県障害者スポーツ連携推進会議）
- ・地域における障害者のスポーツ参加促進に関する実践研究の実施
- ・理解促進イベント　パラ競技体験会

3 成果（平成 29 年度）

4 3年間の成果

平成 29 年度 地域における障害者スポーツ普及促進事業 報告書

1.現状と課題

本県の面積は全国で 5 番目に広く、佐渡島という離島もあることや、本県の障害者スポーツ振興の中核となる「新潟県障害者スポーツ協会（以下、当協会という）」、活動拠点となる「新潟県障害者交流センター（以下、交流センターという）」、障がい者スポーツ指導員を取りまとめる「新潟県障がい者スポーツ指導者協議会（以下、指導者協議会という）」が新潟市に拠点を置いていることもあり、新潟市やその近隣の市町では障害のある方が「身近な地域」で「日常的」にスポーツに取り組める環境が整っていたが、その他の地域では中核となる団体や拠点となる施設がなく、同様の活動ができないというのが現状であった。

地域の障害のある方が「身近な地域」で「日常的」にスポーツに取り組むために、指導者や支援者等の「支える人」の育成、「行政や学校、総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型 SC という）」との連携、地域住民の障害や障害者スポーツに対する「理解促進」を課題に、平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間、取り組みを行ってきた。

2.実施概要

実行委員会（新潟県障害者スポーツ連携推進会議）

(1) 目的

福祉関係団体及びスポーツ関係団体等が連携体制を構築し、障害者が身近な地域で日常的にスポーツに取り組むことのできる環境整備を推進することを目的に設置。

(2) 構成

〔行政〕 県障害福祉課、県民スポーツ課、県義務教育課

〔教育〕 県特別支援学校体育連盟

〔スポーツ関係〕 県体育協会、県レクリエーション協会

〔障害者スポーツ〕 県障害者スポーツ協会、県障がい者スポーツ指導者協議会

〔福祉関係〕 障害者交流センター、県社会福祉協議会、県障害者社会参加推進センター

(3) 実施日時

第 1 回／平成 29 年 10 月 20 日（金）

第 2 回／平成 30 年 3 月 13 日（火）

(4) 議題

- ・本事業の進捗状況について
- ・地域での取組事例の発表
- ・地域における活動場所、支援者の確保について
- ・本事業終了後の取り組みについて

地域における障害者のスポーツ参加促進に関する実践研究の実施

(1) 目的

小千谷市に拠点を置く総合型 SC「こいこいスポーツおぢや」と連携・協働することにより、小千谷市やその近隣市町で障害のある方が「身近な地域」で「日常的」スポーツに取り組むことができる環境整備、またその活動が「継続的」に行われるよう理解促進を図ることを目的に実施した。

(2) 取組内容

こいこいスポーツおぢやを中心に、行政や学校、障害者施設、総合型 SC 等による関係者会議や支援者研修会、小千谷市近郊の障害のある方や市民を対象としたスポーツ教室を実施した。

(3) 実施期日・内容

関係者会議

平成 29 年 8 月 4 日（金）、平成 30 年 2 月 20 日（火）の 2 回にわたり実施
地元行政（教育委員会、福祉関係部局）、総合型地域スポーツクラブ、特別支援学校、障害者施設、社会福祉協議会、障害者スポーツ団体等が出席

支援者研修会

平成 29 年 9 月 16 日（土）参加者／30 名

講座 1／地域で障がい者がスポーツに親しむために

講座 2／障がい者の理解と障がい者スポーツの意義

講義 3／ボッチャの基本ルールと指導法

スポーツ教室

①平成 29 年 10 月 22 日（日）

バリアフリースポーツ教室（ボッチャ講習会）参加者／23 名

②平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）

バリアフリースポーツ教室（ボッチャ交流大会）参加者／67 名

③平成 29 年 12 月 2 日（土）

バリアフリースポーツ教室（バリアフリースポーツフェスタ）参加者／56 名

④平成 30 年 1 月 27 日（土）

ウインタースポーツ教室 参加者／21 名

（スノーシュー、ラダーゲッター、スポーツ吹き矢体験会）

理解促進イベント パラ競技体験会

(1) 目的

障害スポーツの普及には、広く県民の理解が必要不可欠であることから、障害者スポーツのトップアスリートと指導者を招聘し体験会や、様々なイベントで障害者スポーツについての講話や競技体験会、特殊用具の展示をすることにより、県民に対する理解促進に努めた。

(2) 実施期日・内容

[パラリンピック競技体験会]

①平成 29 年 11 月 25 日（土）

競技／卓球 参加者／80 名

②平成 29 年 11 月 26 日（日）

競技／陸上 参加者／52 名

[体験及び展示ブース出展]

①平成 29 年 7 月 29 日（土）

第 55 回全国スポーツ少年大会 参加者／251 名

②平成 29 年 11 月 19 日（土）

福祉・介護・健康フェア 2017 参加者／120 名

③平成 29 年 12 月 7 日（木）

新潟県障害者差別解消法普及啓発事業 参加者／108 名

3.成果（平成 29 年度）

平成 29 年度はこいこいスポーツおぢやと連携協働し、小千谷市とその近郊の環境整備を行った。

関係者会議では、小千谷市における障害者スポーツの現状や課題、今後の取組について議論が行われる中で「スポーツ活動の場の不足」や「支援者の不足」、「障害や障害者スポーツに対する理解不足」、「取り組むためのノウハウが無い」等、様々な問題点が挙げられた。

その問題を解決するべく、支援者研修で「障害の理解や障害者スポーツの意義」や、県内で盛んに行われている「ボッチャ」のルールや指導法の講義を行うことにより、障害のある方が身近な地域で日常的にスポーツに取り組める環境の土台作りに取り組んだ。

全 4 回のスポーツ教室では、障害のある方にスポーツ活動の場を提供するという目的の他に、支援者研修会を受講した指導者・支援者が学んだことを活かしながら、ボッチャや卓球バレー、フロアホッケー、スポーツ吹き矢の指導を実践し、身近な地域で指導者・支援者を確保し継続した活動に繋がるような取り組みを行った。

本事業を契機に、平成 30 年度以降も「こいこいスポーツおぢや」を拠点に、様々な取り組みが行われる予定であり、引き続き当協会や行政、総合型 SC、関係団体が連携を図りながら、障害のある方が身近な地域で日常的にスポーツに取り組み、より質の高い生活を送

ることができるよう努めて参りたい。

4.3 年間の成果

平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間、佐渡市、新発田市、十日町市、村上市、小千谷市の 5 箇所では様々な取り組みを行ってきた結果、各地域の行政や学校、総合型 SC、障害者施設等との「繋がり」や「連携」ができたことが一番の成果である。

本事業終了後も、各地域において障害者のスポーツ活動に関する取り組みを継続しており、新発田市や十日町市、村上市では総合型 SC が中心となって、レクリエーションやダンス、ボッチャ等の定期教室、各種大会、イベント、関係者会議の実施しており、佐渡市では本事業を契機に佐渡障害者スポーツ協会を設立し、不定期ではあるがボッチャ大会や陸上競技教室等を実施している。また、小千谷市でも総合型 SC を中心とし、平成 30 年度には今後の取り組みについて検討する関係者会議や、平成 30 年 9 月には市民参加型の障害者スポーツイベントで卓球バレー等の体験会や車いすバスケットボールチームによるエキシビジョンマッチを実施する予定である。

今後は本事業で取り組みを行った 5 箇所でも継続した活動を行うための支援はもちろん、その他の地域においても同様に、身近な地域で日常的にスポーツに取り組めるよう「地域格差のない障害者スポーツ振興」に務めて参りたい。